

平和の鐘を鳴らそう in 岡寺

2009年7月19日(日)飛鳥・橿原ユネスコ協会 最初の事業となる「平和の鐘を鳴らそう in 岡寺」を明日香村 岡寺で開催しました。前日までは雨続きで天候も心配でしたが、梅雨の晴れ間に恵まれて無事に開催することが出来ました。

岡寺はユネスコ世界遺産暫定リストに登録されている「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産の1つであり、世界遺産正式登録実現に向けて活動している当協会にとって縁のある場所です。西国三十三所第七番札所のお寺ということもあり、当日も多くの方が参詣に訪れていました。



岡寺山門



当日はユネスコ会員、一般の方、ボーイスカウト、ガールスカウトの子どもたち計約90人が参加しました。

まず、明日香村文化財課職員による「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」に関する現状についての講演、続いて岡寺ご住職の講話が本堂で行われました。暑い季節ではありましたが、塑像としては日本最大・最古の観音像に見守られながら、歴史の重みを感じる贅沢なひとときとなりました。

鐘をつく前にボーイスカウト、ガールスカウト代表の子どもたちが「わたしの平和宣言」を1つ1つ読みあげて参加者の皆さんに紹介してくれました。その後、参加者ひとりひとりが平和への思いを胸に、また、声に出しながら順番に鐘をつきました。



「わたしの平和宣言」を紹介



平和への願いを込めて鐘を鳴らしました





わたしの平和宣言



私は人類の未来、特に子どもたちの未来に対して責任があると思うからこそ、日々の生活の中で、家族と共にいる時、職場で働いている時、次のことを誓います。

1. 「すべての生命を大切にします」

差別や偏見を持たないで、一人ひとりの生命と人権を尊重します。

2. 「どんな暴力も許しません」

積極的に非暴力を支持します。特に弱い立場にある幼児や青少年に向けられた身体への暴力、性的虐待、精神的苦痛などのあらゆる暴力を許しません。

3. 「思いやりの心を持ち、助け合います」

社会的差別、不正、政治的・経済的抑圧をなくすために、思いやり、助け合う心で、奉仕活動を行います。

4. 「相手の立場に立って考えます」

狂信に陥ったり、他人を中傷したり拒絶したりしないで、いつも話し合いを優先させ、人の話を理解しようと努めることによって、表現の自由と文化の多様性を守ります。

5. 「かけがえのない地球環境を守ります」

生態系のバランスを保ち、すべての生命を尊重するよう行動し、自分の行動に責任を持つ消費者としての態度を心がけます。

6. 「みんなで力を合わせます」

男女が共に力を合わせ、民主的なやり方でいろいろな新しいことに取り組み、自分の暮らす地域のことに関心を持ち、よりよい地域づくりのために、いま、ここで、できることから始めます。

<(社)日本ユネスコ協会連盟 訳>

* 「わたしの平和宣言」「MANIFEST 2000」はノーベル平和賞受賞者たちの起草した誓いです。